



Toba Rotary Club



2025年6月4日
通算第2890回例会
会報通算第2563回

第61期テーマ：～マジック 奉仕の心を TUNAGU つなぐ～

本日の例会プログラム

- 【ソング】「君が代」「奉仕の理想」
- 【ゲスト・ビジター紹介】
- 【会長挨拶・報告】
- 【米山記念奨学生奨学金授与】
- 【コラム】東谷佳一 君
- 【幹事報告】
- 【出席報告】
- 【ニコニコBOX報告】
- 【委員会報告】
- 【行事】クラブフォーラム(三役担当)
「一年を振り返って」各理事発表
- ***** 6月のお祝い *****
- 会員誕生日：杉原新一君・野村保夫君
- 夫人誕生日：迫間優子様・中村洋子様
- 結婚記念日：林 巧 君・中村和寛君
杉原新一君・羽柴 聡君
迫間修平君
- 入会記念日：小林嗣雄君・松田音壽君
原田佳代子君・迫間修平君

次の予告 6月11日

- 【ソング】「我らの生業」
- 【コラム】和田邦孝 君
- 【6月友の紹介】阿部康之 君
- 【行事】クラブフォーラム(三役担当)
「一年を振り返って」各理事発表

前回の記録 5月28日

- 【ソング】「ROTARY」
- 【行事】ゲスト卓話(青少年奉仕委員会担当)
三重県立鳥羽高等学校
総合学科担当 真弓覚仁先生
総合学科生徒
テーマ：「とばっ子市場での学び」

会長挨拶・報告

皆さん、こんにちは。
本日のゲストは、鳥羽高等学校の真弓先生と生徒さんです。今日は鳥羽高校が取り組んでいる『とばっ子市場』についてお話して頂けるそうです。後ほど宜しくお願いします。
そして本日、過去にR財団交換学生として当クラブでお預かりさせていただいたマーゴさんがオーストラリアからお越しくださいました。彼女は、高校時代、奨学生として1年間、鳥羽高校へ留学していました。
先日、四日市東ロータリークラブの30周年式典祝賀会に友好クラブとして参加させて頂きました。この機会に更なる友好が深められるとを期待いたします。それでは、本日、宜しくお願いします。

幹 事 報 告

1. 6月4日と11日はクラブフォーラムです。
理事、委員長には発表された週の金曜日までに原稿の提出をお願いします。
2. 5月30日(金)次期会長・幹事を励ます会について
3. 6月11日(水)6月定例理事会開催について
4. 回覧：輪島市からの義援金お礼状

委 員 会 報 告

- 5月家庭集会報告⇒ホスト：寺本祐二君
- 第62期幹事⇒本日例会終了後、理事会を開催いたします。尚、6月11日例会終了後に理事会を予定しています。

5/28ホームクラブ	14/27	55.56%
5/7確定出席率	23/27	85.19%

○会 長 林 巧 ○副会長 原田佳代子・杉原新一 ○幹事 池田長示
○会報担当 村瀬敬一・山本元昭・杉原新一・野村保夫
○事務局 〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7 鳥羽商工会議所2F
TEL 0599-25-6039 FAX 0599-26-4588 E-mail: tobaroc@poplar.ocn.ne.jp
○例会日・例会場 毎週水曜日 12時30分～13時30分 鳥羽商工会議所2F 特別会議室

鳥羽ロータリークラブHP
QRコード





- (株)電通グループ 電通イノベーションイニシアティブ
エグゼクティブ・ディレクター 青木 圭吾 様
■(株) ハンディ 専務執行役 松田 友穂 様

『海外から学ぶ地域に役立つマーケティングトレンド』

コロナ禍で、D2C（Direct to Consumer：メーカーが自社製品を直接顧客に販売する）ブームがもたらしたオンラインでの顧客獲得効率、いわゆる短期的成果重視のマーケティングへの偏重

は、消費者へのブランディング軽視につながり、長い目線でのブランド構築という観点で企業において新たな課題を生んでいます。

消費者主語の体験を適切に設計しながら、消費者自身に、消費者自身が「なぜこのブランドが必要なのか？」という意識を持たせていくことが肝要。真の意味でのブランドを作り上げることがこれからのビジネスにおける重要な差別化要素になると考えます。

またTikTokに代表されるSNSのアルゴリズムは、消費者の意識や興味を細分化し、簡単で一時的なコンテンツ消費嗜好を加速・助長させました。このトレンドは次世代消費者の間で「自らの推し」への帰属意識を起点とした多様なマイクロコミュニティを生み出しています。このトレンドは、消費者一般に広める際、網掛け的マスマーケティングからボトムアップ型のコミュニティマーケティングへと根本的に変化させました。それに伴い、これらのコミュニティをリードする小規模・個人クリエイターの持つ影響力は、特にZ世代以降の世代の間で加速度的に高まっており、企業はこういった小規模なクリエイターとの関係性をどのように築いていくか、もしくは企業が自らのコミュニティをコンテンツ起点でどのように作り上げていくか、という視点が重要になっています。



- 三重県立鳥羽高等学校 教諭 真弓覚仁 様
参加生徒 加藤琉雅さん、野中陽斗さん

『とばっ子広場での学び』

鳥羽高校は「これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する」ことを目指している。

これを実現するための取り組みが「とばっ子市場」である。これは1年次の教科「産業社会と人間」で「起業体験プログラム」として行っている。仮想の株式会社を立ち上げ、地域の魅力をさらに増大させるビジネスモデルを考える。「とばっ子市場」とは、このビジネスモデル実現のため、地域の方々から出資を募り、地元鳥羽市の企業と商品の開発を共同で行い、自分たちのアイデアを形にして販売を行い、利益を求める活動である。

この活動では、開発した商品を鳥羽商工会議所が主催する鳥羽市最大級のイベント「オクトバ（鳥羽の日・鳥羽の月）」の一つとして販売する。その他にも、本校卒業生で起業に精通している中川直洋氏・鳥羽市市役所企画財政課・JPX日本取引所グループ・鳥羽商工会議所・鳥羽市の企業と連携している。

本校には、課題を抱えた生徒や自尊感情が低い生徒も多く入学する。生徒は未熟ながらも熱意あるアイデアを商品化して販売し、その後どうすればお客様により良いものをお届けできるのかを地域の方々と一緒に考える。さまざまな方々と触れあい意見を交換し開発・販売する等の体験学習を通じて、自己肯定感やコミュニケーション能力を向上させ、自信と誇りを持って成長する一歩



につなげたい。

実際、「とばっ子市場」や「オクトパ」において、鳥羽商工会議所の方々から販売中に積極的に声をかけていただいたり、会場準備のお手伝い等を一緒に取り組んだりする機会をいただいた。地域の方から認められた経験が生徒の自信につながり、積極的に活動できるように成長した姿が印象的であった。

このように、未来を担い地域をつくる鳥羽市内唯一の公立高校である鳥羽高校の生徒が、卒業生等の手を借りながら、地域一丸（鳥羽商工会議所・鳥羽市役所・地元企業の方々）となることで、「自分もこのような大人になりたい」という思いを生み、さらに高校生が生き生きと活躍することで地域の活性化につなげる、という好循環を生み出すことができる。そして、この活動で「若者が活躍できる鳥羽・暮らしたい鳥羽」へつながるまちづくりの一助となることを目指す。



マーゴ・アリソンさん(1989.1.～1990.1交換学生)が例会にお越しくださいました！



ニコニコBOX



5月28日分

- 林 君・真弓覚仁先生、生徒の皆さん、本日よろしくお願いいたします。
- 池田君・本日の例会はゲスト卓話 青少年奉仕委員会担当です。三重県立鳥羽高等学校 総合学科担当 真弓覚仁様、総合学科生徒の方々、ようこそロータリークラブへ。テーマ「とばっ子市場での学び」本日はよろしくお願い致します。
- 杉原君・鳥羽高等学校総合学科担当 真弓様、総合学科生徒様、本日の卓話よろしくお願い致します。
- 中村(和)君・本日、青少年奉仕委員会担当例会です。鳥羽高校 真弓先生、生徒たち、しっかり鳥羽高校をPRして下さい。よろしくお願い致します。
- 中村(正)君・鳥羽高等学校、真弓覚仁様、生徒の皆様、大切な時間をロータリーの卓話に割いて頂きありがとうございます、学生の頃を思い出し学習します。

- 小林君・鳥羽高校の皆様ようこそ鳥羽RCへ。私は2月6日に仕事ガイダンスで2年生を対象にお話をさせていただきました。本日はよろしくお願い致します。
- 増田君・鳥羽高校 真弓先生、本日はお忙しいところようこそ鳥羽RCへお越しくださいました。生徒さんもありありがとうございます。楽しんでいて下さい。卓話宜しくお願いいたします。
- 濱口君・本日のゲスト卓話、鳥羽高校 真弓先生、生徒の皆様ようこそ鳥羽RCへ！卓話よろしくお願い致します。楽しみにしています。
- 寺本君・鳥羽高校の真弓先生、生徒さん、ようこそ鳥羽ロータリークラブへ。今日はよろしくお願い致します。
- 濱崎君・本日もよろしくお願い致します。
- 山本君・本日もよろしくお願い致します。
- 村瀬君・本日もよろしくお願い申し上げます。
- 中村(幸)君・本日もよろしくお願い致します。
- 中村(泰)君・本日もよろしくお願い致します。